

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 (有)ケアサービスはまゆう

(ユニット名) はまゆう堀江

記入者(管理者)

氏名 近藤 美由紀

評価完了日

平成 19 年 9 月 18 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月29日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102922		
法人名	(有)ケアサービスはまゆう		
事業所名	ゲル - プホ - ムはまゆう堀江		
所在地	松山市福角町200-1	(電話) 089-978-4521	
管理者	近藤 美由紀		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5 - 1 9 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年9月18日	評価確定日	平成19年10月29日

【情報提供票より】 (平成19年8月10日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成14年12月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤	2人, 非常勤 8人, 常勤換算 4.1人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	30,000 ~ 35,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	円	1ヶ月 33,000 円
(3)利用者の概要 (平成19年8月10日現在)			
利用者人数	9 名	男性 4 名	女性 5 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名
要介護3	3 名	要介護4	1 名
要介護5	0 名	要支援2	1 名
年齢	平均 70 歳	最低 59 歳	最高 90 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者それぞれの力に応じて、鍬で畑を耕し、種をまき、水をやり、草を引き、みんなで収穫の喜びを共有できるよう支援されている。四季折々の花作りも楽しみにされており、利用者自慢の花園となっている。又、利用者のほとんどが新聞を読まれるので、新聞を1枚ずつ四つ折にして、読みやすいように工夫されていた。社会復帰を目指している方もおられ、リハビリに懸命に取り組んでおられる。ズボンのゴム入れや裾上げ等をご自分で行う方もおられる。
 ご本人の希望や意向を把握できるよう、機会を捉えて利用者アンケートを行っておられる。たとえば、お花見のお弁当は手作りがいいか、市販のものがいいか、値段はいくらぐらいか等、用紙に記入し、意見箱に入れてもらっている。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、個別の記録が介護計画に活かせるよう、利用者の日々の変化を具体的に記録することに取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、職員の意見を聞き、話し合いながら作成された。管理者は「日々のケアの見直しができる」と実感しておられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議時、事業所の取り組みや課題点を提示し、意見交換することを通じ、事業所に対する理解を深めていただいている。管理者は、今後も、地域のいろいろな方に出席していただき、ご意見をサービスの質の向上につなげていきたいと考えておられた。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数ヶ月に1度、利用者の写真や職員の声が満載された便り「暖かわが家」を利用者個別に冊子にされて、ご家族に届けておられる。遠方のご家族には、手紙を添えて送っておられる。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営者(管理者)は、老人会の事務局長を引き受けておられ、積極的に活動されている。利用者は、公民館のさつき展や菊花展、誕生会や敬老会等に参加したり、小学校の行事に招待されて楽しく交流されている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の奉仕活動や行事に積極的に参加し、交流を深め地域でその人らしく日常生活を営むことが出来ることを目標としている。		理念を目標とし、地域に根ざしたグル-ブホ-ムを目指し、地域住民としての活動を積極的に行う。
			(外部評価)		
			理念に基づき、利用者一人ひとりが、地域住民の一員として穏やかに生活できるよう支援し、地域に貢献できる事業所を目指して取り組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			職員間で理念作成し、理念に基づいて実践できるようミーティングにて復唱する。		地域で共有できるよう積極的に取り組みたい。健康管理の維持。
			(外部評価)		
			理念を事業所の各所に掲示し、全ての職員で日々振り返りながら実践に取り組んでおられる。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族や地域の方々との交流を大切に認知症への理解を深めて頂くと共にコミュニケーションが図れるように積極的に努めている。		地域の中での暮らしをより多くの方々に理解して頂けるように積極的に働きかける。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 近隣の方々から季節に応じた物を頂いたり、行事に参加したり、気軽に立ち寄って頂いたり、日常的な付き合いが出来ている。		季節の果物、お花、野菜等提供したり、頂いたりして、近所付き合いしている。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 老人会に加入し、年間行事に参加したり、招待したり、公園掃除、市民大清掃等参加し地域の一人として、幅広く地域の方と交流させて頂いている。		今後、地域に於いて出来ることは参加し、協働したりしていく。地域のお祭りは青年団や小中学生が活動して事業所内に神輿を振舞う等地域との交流をしている。小学校の子供見守り隊に地域老人会の方々と一緒に利用者と協働している。
			(外部評価) 運営者(管理者)は、老人会の事務局長を引き受けておられ、積極的に活動されている。利用者は、公民館のさつき展や菊花展、誕生会や敬老会等に参加したり、小学校の行事に招待されて楽しく交流されている。事業所の夏祭りには、地域の方をお招きし、そうめん流しや利用者が丹精された野菜をふんだんに使った料理を召し上がっていただいた。近所の方からのおすそ分けや贈り物をいただいた際には、利用者もご挨拶にうかがったり、お礼の寄せ書きを送っておられる。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 公園の掃除や老人会等の取り組みに協力している。		出来ることは積極的に地域に貢献したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価、外部評価にかかわらず、日々の実践の評価を行ったり、課題の解決等多様な場面を活かしている。		自己評価には全員で取り組み、サービスの質の向上に努める。また外部評価の結果はミーティングで報告し、改善に向け検討をして実践に繋げていけるよう努める。
			(外部評価) 自己評価は、職員の意見を聞き、話し合いながら作成された。管理者は「日々のケアの見直しができた」と実感しておられた。前回の評価結果を受けて改善計画を作成し、個別の記録が介護計画に活かせるよう、利用者の日々の変化を具体的に記録することに組み込まれた。		今後も、さらにサービス評価の仕組みを活用し、事業所の質の向上に役立てていけることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議を開催し、客観的な意見を反映して、改善している。		運営推進会議の協力は、充分得られているが、常に多様な意見を徴収し、取り組んでいきたい。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の取り組みや課題点等を提示し、意見交換することを通じ、事業所に対する理解を深めていただいている。管理者は、今後も、地域のいろいろな方に出席していただき、ご意見をサービスの質の向上につなげていきたいと考えておられた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			運営推進会議を開催することによって、市町村担当者や包括支援センターとの交流が密に図りやすくなり、意見交換する機会が多くなっている。		市町村担当者や包括支援センターと気軽に意見交換を行い、サービスの質の向上に努めたい。
			(外部評価)		
			地域包括支援センターの方を事業所の夏祭りに招待し、利用者やご家族に紹介された。又、成年後見制度等について相談に乗っていただいている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			成年後見制度について必要な方に活用できる支援を行った。窓口相談なども紹介している。		充分な活用が職員全員で支援できるように研修への参加を積極的に推進していく。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待関連について日々の実践内容を話し合いながらケアを行っている。		勉強会や研修会へ積極的に参加するように働きかけ、カンファレンスにて虐待防止の徹底を図る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 利用者の権利義務は、契約書に明記されており、利用者や 家族に充分説明を行い同意書を得ている。		内容にて十分な理解が得られるような説明を心がけている。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日々の暮らしの中で意見や意見を聞いたり、アンケートを行う等自由に意見箱を活用できるよう支援している。		利用者の方々にもっと積極的に意見箱を利用できるような環境づくりをしていく。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族面会時日々の生活状況等説明し家族の要望等取られたり、個々に合わせた報告をしている。		全職員が家族に適切な報告できるように個々の状況把握に努め、信頼関係を構築する。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりや健康状態についてお話しされている。職員の異動についても報告し、新任職員を紹介しておられる。数ヶ月に1度、利用者の写真や職員の声が満載された便り「暖かわが家」を利用者個別に冊子にされて、ご家族に届けておられる。遠方のご家族には、手紙を添えて送っておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時必ず家族等と日常状況等報告を行い家族の意向など気軽に相談できるような機会を設けて、家族と信頼関係を深めるよう努めている。		職員全員で取り組み体制が図れるように努め家族会運営推進会議等にて反映していく。
			(外部評価) 管理者、職員は、ご家族のお話に根気よく耳を傾けるよう努めておられる。現在は、ご家族の意見、要望は少なめである。		今後、ご家族同士で話し合う機会を増やす等、さらにご家族が意見を出しやすくなるよう、工夫を重ねていきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行い意見や提案等を聞く機会を設けている		各職員が、積極的に意見を持ちよることが出来る機会雰囲気をつくる。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の状況によって職員体制の調整を行っている。		入居者の方々の生活に支障をきたすことによっては、職員間で協力して対応している。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 新人職員には、入居者の個人情報を紹介し、適切な対応が充分に図れるように指導をしている。離職後も招待し馴染みのスタッフとの交流をするなどスタッフの異動時に混乱しないように配慮している。		離職率減少に努めている。
			(外部評価) 職員によって、利用者一人ひとりに対するケアやかかわり方が異なることのないよう、日々取り組んでおられる。運営者は、食事会を持たれる等、職員間の悩み等を共有し、コミュニケーションを図っておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修案内を周知して研修参加を勧めている。研修後カンファレンスにて研修内容を報告し、全職員が共有できるように質の向上に取り組んでいる。		研修を受ける機会の確保や働きかけに積極的に参加できるように努めている。
			(外部評価) 事業所内で、利用者の状況に則して勉強会を行っておられる。職員は、外部研修で得た情報等が日々のケアに役立っていると感じておられた。		さらに、すべての職員が段階に応じた、又、希望している研修を受講できるような機会作りから、さらなる職員のスキルアップを図っていかれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			地域の同業者と密に相談したり、多様な活動を通じて交流して質の向上に努めている。		運営推進会議等参加して頂いたり他業所との意見交換することで質の向上が図れるよう努めている。
			(外部評価)		
			運営者は、同業者と情報交換に努めておられる。職員は、地域の事業所と相互訪問されている。		運営者は、他事業所との交流を通じて、さらなる質の向上に取り組みたいと考えておられ、今後、相互評価の実施を予定されていた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			個々の相談受け入れ体制を取り、食事会 旅行等で職員の親睦を図りストレス解消軽減に努めている。		食事会等多様な配慮しストレス軽減に努め人間関係を構築していく。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			健康診断実施し、健康状態への配慮を行うと共に個々の状況に応じて要望 希望など勘案し勤務体制に取り組んでいる。。		向上心が保たれるような職場体制に努める。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			入居前には、本人 家族等々の面会と面会し多様な情報聴取し入居後安心して日常生活に慣れて頂けるよう信頼関係を築けるよう支援していく。		利用者の情報を把握しその人らしい生活が出来るように受け入れ体制を図る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居前利用者 家族と面会し家族の意向を重視し安心して頂けるような支援を行っている。		日々の支援内容 状況等随時報告を行い家族の意見を取りいれるように努める。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時内容に応じて明確な支援を説明する。状況に応じて必要なサービスに対応している。		画一的な対応でなく多様なサービス提供に努める。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人家族にホ - ム内見学して頂き他の利用者とスタッフ等の雰囲気徐々に馴染めていただけるような工夫をしている。 (外部評価) 管理者は、入居予定者の入院先等に面談にうかがっておられる。ご本人やご家族が見学に来られた際には、利用者と話していただいている。午前中に入居していただき、ご家族と共に昼食を取っていただくようにされている。入居間もない方に対しては、職員は、ご家族と頻りに連絡を取りながら、かわりを多く持つように努めておられる。		情報聴取し得意な事 趣味等取り入れた環境を提供している。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日常生活内で利用者と協働しながら色々な暮らしの知恵を出し合い利用者が能力に応じて発揮できるような関係を築いている。 (外部評価) 職員は、利用者を人生の先輩として敬い、料理の味付けや野菜の切り方等、教えてもらっている。時には、利用者が職員に「あんたも大変じゃねえ」とねぎらいの言葉をかけてくれることもある。利用者同士も性別や年齢を超えて、互いに相談相手になる等、助け合って生活されている。		利用者一人ひとりの得意な事や出来る事を学んだり、一緒にしたりして共に過ごしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 日々の経過を面会時必ず報告し、家族の意向を聞いたり、支援内容を説明して、家族との信頼関係に重視している。		家族と行事を共に開催したり、家族との交流を深めている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 利用者の家族関係を理解し個々の支援に努める。		個々の事情に応じて配慮しながら支援している。外出や外泊等家族と一緒に過ごすことを勧めたり、行事に家族を誘ったりしながら関係の継続に努めている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) お墓参りに一緒に行ったり、友人に逢いに同行する等、個々の関係に応じて支援している。		今まで利用している美容院に行き続けたり、知人・友人等の家に行ったりと馴染みの関係が継続できている。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握し、トラブルのないよう支援する。		お茶や食事の時間等に利用者同士の世話や言葉掛け等、協働でき、分かり合えるような雰囲気作りをしている。
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 食事、おやつ等の際には同テーブル同士で声掛けができる。契約終了後も来所されたり、利用者と一緒に訪問したりする。また、手紙や年賀状等にて交流している。		近隣の方々と会う機会を設けたり、ホームで出来た野菜等を持っていくなど交流をされていて、退所後も来所されて利用者の方々と雑談されたりして楽しまれている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			利用者一人一人の思いを行動や表現から汲み取り、把握できるよう重視している。		日常生活の中で外出や買い物の希望があれば利用者本位で自由に選択できるような支援をしている。意思疎通が困難な方は家族から情報を得るようにしている
			(外部評価)		
			ご本人の希望や意向を把握できるよう、機会を捉えて利用者にアンケートを行っておられる。たとえば、お花見のお弁当は手作りがいいか、市販のものがいいか、値段はいくらぐらいか等、用紙に記入し、意見箱に入れてもらっている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			利用者の生活歴や馴染みの暮らしを活かした生活環境づくりに努めている。		農作業や花作り等取り入れ、これまでの暮らしを維持する。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			利用者一人一人の毎日の生活の中で様子や残存能力を把握するようにし、スタッフ間でお互いに気づき合えるように努めている。		個々の生活歴を把握し、日々の状態の変化を見落とさないようにしながらその人らしく過ごしていただけるよう気を配る。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画作成の際はスタッフ間で話し合い、それぞれの意見を反映させながら取り組んでいる。また家族の意見を聞き取り、希望などを介護計画に反映させている。		介護計画に反映できるようなアセスメントを行っている。
			(外部評価)		
			ご本人やご家族、医療関係者や職員の意見を取り入れ、介護計画を作成されている。ご本人の古い友人のアイデアを計画に反映されることもある。利用者一人ひとりのケアの月目標をスタッフルームに分かりやすく掲示されていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			介護計画の期間を3ヶ月とし、短期間で解決できるよう目標を設定している。その達成感を家族・スタッフ間で共有し計画作成している。また、面会時には介護計画の日々の経過を報告している。		介護計画作成時には家族の要望を取り入れながら作成している。また、利用者の状態変化や状況等に応じて見直しを行っている。
			(外部評価)		
			介護計画は、入居直後は1ヶ月で見直しをされている。入退院時等、状況が変化したような場合は、随時、見直しを行ってられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別にファイルを用意し、個々の状態に応じた記録をし、情報をスタッフ全員で共有できるよう徹底している。		個々の記録に変化、またそれについての対応を記入するよう指導している。記録の気付きに重視し、日々のケアの実践に反映し質の向上に努める。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者の通院や家族の要望に応じた柔軟な支援を心がけている。また医療連携体制にて本人の体調変化にも対応したり、日々の暮らしに利用者や家族が安心できるよう多様な支援をしている。		家族と相談しながら要望を汲み取り支援している。
			(外部評価)		
			病院や理美容院、利用者の馴染みの店や知人宅に職員が同行される等、ご本人やご家族の要望に柔軟に対応されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 利用者の必要性に応じて警察やボランティア、民生委員さん、老人会等との連携を図り、意見交換する機会を設け協働出来るようにしている。		行事等に参加したり、地域の方と一緒に清掃したりして地域やボランティア等による協働ができています。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 地域町内会が開催する交通安全教室に参加したり、小学校に訪問する等、多様な支援をしている。		子供見守り活動を地域老人会の方々と一緒に取り組みしている。
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 地域包括支援センターの方々と運営推進会議にて交流を図っている。		地域包括支援センターとの情報交換を積極的に行い、強化していく。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 利用者の要望に応じてかかりつけ医の診察が受けられるよう支援を行っている。		随時医療を要する場合は家族に連絡を行い、利用者の状態を説明し、かかりつけ医の選択を再確認する。受診には職員が同行し、医療機関と情報交換を行っている。
			(外部評価) 利用者それぞれのかかりつけ医を受診されている。必ず職員が同行し、医師との関係性を築いておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症専門医にかかりつけ、診察や治療相談に応じていただけるよう支援している。		利用者の経過を医療機関に情報提供し、相談して家族に報告するなど、密に連携を図っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が日常健康管理や医療活用し24時間体制で緊急時の対応・状態変化時の相談を行えるようにしている。		研修への参加を行い職員全員で即応体制や判断対処の力を育てて利用者への健康管理や緊急時の対応を強化する。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院された場合には必ず担当医と面談して入居時の支援情報提供し、早期退院や退院後の援助体制を明確に行っている。		利用者の入院後頻りに面会し、家族と情報交換を行いながら、回復状況等、三者一体となって退院計画案を具体的にし退院後の体制を明確にする。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 終期の場合は利用者の状態変化について家族関係者と密に連絡を取り、医療体制の支援を明確にしている。 (外部評価) 入居時に、重度化した場合や終末期のあり方について説明され、その後も状況に応じて、その都度、話し合いをされている。昨年、ご家族と相談し、協力を得ながらターミナルケアを実践された。		病状変化の把握を怠らないようにし、スタッフ間で十分な体制を図る。多様な症状変化を想定し、常にカンファレンスにて対応できるよう向上している。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 利用者・家族の意向を尊重し、症状の悪化時等の対応が図れるようにスタッフ間で体制を取っている。また緊急時に対応できる医療機関との連携も確保できている。		日々の利用者のケアに十分な観察を行い、終期を安心して過ごす事ができるような体制をとっている。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 利用者が他の事業所に転所する場合は、情報シート等により支援状況等について情報交換を行うと共に、利用者及び家族にダメージを与えないように十分な配慮をしている。		情報シート等の内容を必ず提供できるよう行うと共に、訪問する等情報交換を行い連携を図るよう心がけている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人情報、プライバシー確保について日頃からミーティングにて日々の関わり方の対応に徹底を図っている。</p>		<p>言葉かけや誘導の声掛けの際、難聴者が多いため全てできているわけではなく、スタッフ間で配慮しながら行っている。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>個々の希望を取り入れるようにしている。買い物、食べたいメニュー等自己決定できるようアンケートを行い意見箱に入れて頂いたり工夫している。</p>		<p>すべての利用者ができるわけではないが、言動されたり表情での残存機能を発揮できるよう、反応を注意深くキャッチし、把握している。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>強制しないで声掛けを行い、個々の希望に応じて支援するようスタッフ間で行っている。</p>		<p>利用者の個々の状態に合わせて希望を聞いたり、アンケート等を行い自由に選択できるように心がけ、ゆとりある生活支援を目標にしている。</p>
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>調査訪問時の午後の一時、居間のテーブルを囲んで仲の良い利用者同士がお話しされたり、テレビの大相撲を楽しまれる等、利用者は思い思いに過ごされていた。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己 評価	外部 評価	項 目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又 は取組みを期 待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>(自己評価) 個々の生活習慣として、日頃から化粧されたり楽しんでいただいている。美容院は馴染みの美容院へ行かれています。</p>		<p>行事、外出時等、利用者と一緒に装いを選択して楽しんでいる。</p>
54	22	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>(自己評価) メニュー決定は利用者と相談しながら行っている。配膳・下膳は自発的に自立でき、利用者と共に作った野菜を取り入れた献立の工夫も大切な活動としている。</p> <p>(外部評価) 調査訪問時のメニューも、お客様をもてなす食事になるようにと、利用者と相談して決められた。梅干しや漬け物は、利用者とともに漬けた自家製である。事業所の畑で利用者の手によって収穫された野菜が、四季を通じて食卓を飾ることを、利用者は楽しみにされている。</p>		<p>野菜は畑で利用者と一緒に作り、収穫等も季節に応じたものを味わったりして、馴染みの生活をしている。</p>
55		<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 個々の状況に合わせて好みのものを日常的に楽しめるよう支援している。</p>		<p>職員は個々の嗜好物を理解しており、入浴後に好きなアイスクリーム等食べて楽しまれたり、御菓子等と一緒に買い物に出かけ、嗜好物を自由に購入している。</p>
56		<p>気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 排泄時間や習慣を把握し、トイレでの排泄を促している。</p>		<p>トイレの環境整備を重視し、自尊心を傷つけないような配慮を行っている。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴拒否者に対して言葉かけや対応の工夫、チームプレイ等によって入浴支援を行っている。		希望時に応じてシャワー浴等も行っている。また時候等状況に応じて入居者の方々にアンケートを行い、入浴日 時間等相談しながら行うよう心がけている。
			(外部評価)		
			散歩や畑仕事の後にシャワーを浴びる利用者もおられる。又、夜中に汗ばんだような時には、朝、シャワーを利用する場合もある。洗髪を拒まれる利用者がおられたが、ご家族の協力によって、洗髪できるようになった。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中の活動を促し、個々の生活リズムを整えて夜間に安眠できるよう支援している。		昼間時間の過ごし方に重視し、個々の生活リズムに合わせて休息ができるよう支援している。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			個々の得意なものや趣味等、経験や知恵を発揮できるよう支援する。		外出、地域行事参加等の楽しみを利用者と相談しながら行っている。
			(外部評価)		
			利用者それぞれの力に応じて、鍬で畑を耕し、種をまき、水をやり、草を引き、みんなで収穫の喜びを共有できるよう支援されている。四季折々の花作りも楽しみにされており、利用者自慢の花園となっている。又、利用者のほとんどが新聞を読まれるので、新聞を1枚ずつ四つ折にして、読みやすいように工夫されていた。社会復帰を目指している方もおられ、リハビリに懸命に取り組んでおられる。ズボンのゴム入れや裾上げ等をご自分で行う方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			買い物に行くときには本人が支払えるような支援を行っている。		お金がある安心感や満足感に配慮し、外出時に自分で払っていただけるようにお金を手渡すなどの工夫をしている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			個々の希望に応じて買い物、ドライブ、食事等に出かけたりして気分転換やストレス発散していただき、外出することで五感刺激の機会を活用している。		日常生活の中で地域の方々と一緒に公園等の掃除に参加したり、多様な働きかけをしている。
			(外部評価)		
			日常的に外出を楽しまれている。お花見の際には、利用者とともに下見に何力所にも足を運び、利用者に希望の場所を選んでもらっている。友人とうどんを食べに出かける方もおられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			個々の思いや願いを叶えられるように方策を職員間で検討し、支援につなげている。		個別の希望を重視し、家族やボランティアの方々の協力を得ながら実現に向けた取り組みをしている。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者全員で大切な方への手紙のやり取り支援を欠かさずに行っている。		知り合いの方々から利用者へ頂き物等があった際、御礼の手紙を全員で寄せ書きしたりして、大切な方への感謝の気持ちを伝える雰囲気づくりを職員から声掛け、残存能力を発揮できるような支援を行っている。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			ご家族や知人の方々が気軽に来所しやすい雰囲気作りを心がけている。訪問時間は自由で、居心地良い空間で友人等面会されている。		利用者の同級生、地域の方々が自由に面会等され、一緒に楽しめる環境ができています。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会をホーム内で実施し、職員の共有認識を図っている。		ミーティングや日々の申し送り等でケアを振り返り、自覚なく身体拘束が行われていないか点検を繰り返している。介護保険法指定基準において具体的な行為を提示し、復唱している。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵は開放している。職員の見守りを徹底し、安全面に配慮して自由な暮らしを支えるようにしている。		入居者の状況（徘徊行動等）により、必要な場合は好きな物事に集中して頂いたり、一緒に歩いたり、気分転換を図って頂く等、工夫しながらケアをしている。
			(外部評価) 日中、玄関は開放されており、自由に出入りできるようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員は必ず利用者と同空間で記録等の事務処理をし、一般状態を把握するよう利用者の見守りを行い管理体制を図っている。		夜間は数時間毎に利用者の様子を確認するとともに、すぐ対応できるよう休憩室から見通せるようにし、安全に配慮している。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 利用者の状況に合わせて注意を促し、ケースに応じた対応をしている。		利用者の状態を充分把握し、危険防止のために保管・管理すべきものは必ず個々の家族に説明を行い取り組んでいる。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の状態を把握し、想定される危険を検討し、事故防止に努めている。		日々のヒヤリハットを記録し、職員で共有認識を図っている。万が一事故が発生した場合、速やかに事故報告書を作成し、事故の原因、今後の予防対策について検討し、家族への説明と市町村への報告を行っている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 全ての職員の実技を含む実施等、ホームで看護師が習得できるようにミーティング等行っている。緊急時対応についてもマニュアルの周知徹底を図っている。		研修参加等、全職員が積極的に取り組み、強化に努める。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署の協力にて避難、通報、消火の訓練を年2回実施している。また近隣住民との協力体制を運営推進会議等で検討したりと協力が得られてる。		消防署の協力にて訓練内容に毎回課題を想定し強化している。
			(外部評価) 前回の避難訓練の際は、「寝たきりの方の救出、避難」を想定して訓練された。運営推進会議時、避難経路等も確認されている。避難経路は、居間に掲示されていた。		事業所では、次回の避難訓練の際には、地域の方達の参加を予定されていた。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 個々の面会時家族と話し合いを持ち、起こり得るリスクについて説明し、対応策に理解を得られている。		起こり得るリスクについては個別に定期的な見直しを行っている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異常の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 利用者の既往歴を把握し、毎朝バイタルチェックを行い体調の変化を見落とさないように全職員に徹底している。		常に変化や異常の発見に努め、速やかに報告し、看護師により適切な対応ができています。また、職員間で共有できるよう質の向上に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) ケースに服薬シートを整理し、職員が内容を把握できるようにしている。服薬の際は本人に手渡し、服用できているか確認している。		薬の処方変更や状態変化がみられた時は詳細な記録をとり、看護師が協力医療機関との連携を図り相談を行ったり、家族へ報告している。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 一人一人の暮らし全体の中で食事・排泄活動状態を見直し、自然排便を促す工夫をしている。		食材の工夫や散歩、適度の運動等を家事活動に取り入れたり、個々の状態に合わせて薬に頼らないような工夫をしている。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔内の手入れの必要性を職員全員が理解し、毎食前後、口腔ケアの支援をしている。また義歯の管理、手入れを確実に支援している。		口腔ケアの重要性を全ての職員が理解できるよう、研修への参加を行う。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事、水分量等摂取状況を毎日チェックし、記録を行い職員が情報を共有している。個別の残食量も記録し、摂取できない理由も把握している。		嗜好を把握し、献立に取り入れながら栄養バランスに配慮している。
			(外部評価) 塩分量にも留意されている。利用者が自由にお茶を飲んでいただけるようテーブルに各自のペットボトルを置き水分補給に努めておられる。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成し、全職員で予防・対策に努めるよう徹底している。感染症について情報収集し、早期対応に努める。		感染症に対する予防や対策等を行い、知識を得る機会をつくり質の向上に努める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板や布巾等は毎晩漂白し清潔を心がけている。		調理器具、台所の清潔衛生を保つよう職員で取り決めて徹底している。冷蔵庫内の食材の点検を頻繁に行うようにする。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先には明るい雰囲気の花壇や野菜畑があり、庭先にはパラソルテーブルやベンチ等設置し、お茶を飲んだり季節感を味わったりできるよう工夫している。		玄関は馴染みやすい環境で、親しみやすく誰もが周囲の花や野菜を觀賞され、落ち着ける建物造りになっている。また玄関を開放し、自由に出入りができるように心がけている。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 天井は吹き抜け構造で明るく、違和感ない共用空間が居心地の良い、安心感のある馴染みやすい生活環境づくりをしている。		リビングにはソファ、畳コーナーも設置し、利用者が自由にくつろいでいる。冬にはコタツでの団欒の場面も見られ、洗濯物等取り入れた際には利用者がたたんだりしている。
			(外部評価) 調査訪問時の昼食後、玄関のベンチに腰をかけて、庭を眺めながら一休みしている方がおられた。居間には利用者の行事の際の写真等が掲示され、観葉植物が置かれていた。強い日射しが入らないように日よけのすだれが窓に掛けられていた。調査訪問時、「寒くないですか」と職員は利用者へ声をかけ、室温を気遣っておられた。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関先にパラソルテーブル等を設置し、花や野菜を觀賞しながら居心地良い空間を作っている。畳のスペースでは仲の良い利用者同士で談笑したり、くつろげる場所を作っている。		季節に応じた野菜、花などを觀賞すること五感刺激への配慮ができています。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ご せるような工夫をしている	(自己評価)		
			タンス、鏡台等、利用者の馴染みの物を生活に合わせて用意されたり、自由に慣れた物を持ち込みしていただき、安心して過ごせるよう配慮している。		利用者の生活状況を勘案し、家族と相談しながら居心地良く過ごせるような工夫をしている。 (全ての居室に馴染みの物を持ち込みしている訳ではない)
			(外部評価)		
			居室には、使い慣れた家具やテレビ、扇風機等が置かれ、ご家族の写真や敬老会でいただいたバルーンアート等を飾っておられた。観葉植物を育てておられる方もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気には充分配慮し、温度計を設置して温度調整を行っている。空気入れ替えは適宜行い、全ての居室には換気扇を設置し、トイレには消臭剤で悪臭が出ないように工夫している。		冷暖房を徹底し、調整を適宜行っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			利用者の状況に合わせて居住環境が適しているか見直し、安全確保と日々への配慮に努めている。		身体機能の状態に合わせた危険の防止や、自分の力を活かして動ける個別の設備が道具の工夫を行っている。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			利用者一人一人の状態を把握し、混乱のないよう環境整備に努めている。都度職員間で話し合い改善している。		混乱を招くような環境の原因を解明し、速やかに補修や工夫をしていく。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関先にはベンチを置いて利用者が涼んだり、花や畑の野菜等を観賞したりして日常的に楽しみながら活動できる環境を作っている。		協働しながら花や野菜を作ったり、収穫して味覚を味わったりして残存能力をその人らしく活かしている。出来ない方はベンチにて観賞したりして楽しんでいる。

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々のケアの中で何気ない言動から利用者の気持ちを汲み取ることが出来るよう気を配っている。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	洗濯物の片づけをしながらや、お茶の時間など、一緒に会話しながら過ごしたり、作業なども事務室にこもるのではなく、出来る限り利用者と同じテーブルでお話をしながら作業したりしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	できるだけプライバシーが確保できるよう心がけているが、健康面などから職員によって支援が必要な場合もある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	悩みや不安などが少しでも軽減されるよう個別にお話を聞いたりすることで楽しく過ごしていただけるよう心がけている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ドライブも兼ねて外食や買い物等、できるだけ希望を取り入れながら出かける機会をつくったり、友人と外出等もされ楽しまれている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日々のケアで職員が気付いた変化や利用者の訴え等を見落とさないように把握し、状態に応じて通院等の支援を行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) 1 ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々にお話を伺い、その都度要望に沿った支援を心がけている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会時にお話をしたり、電話等でも連絡を取り合い、世間話もしながらご家族の意向を汲み取り信頼関係を深めている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) 1 ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の方が季節の花や野菜、果物等を届けてくださったり、散歩中に声を掛けていただいたり、地域の回覧、ご友人が遊びに来られたりしている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通して地域住民の方々や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている
98	②職員の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての職員が 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の方々が元気で、日々職員と仲良く協働することによりやり甲斐を感じられている。
99	②利用者の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	居心地の良い環境で過ごしていただけるよう、職員間でも意見を出し合っている。家庭菜園やガーデニングなど、我が家にいるように感じていただけるよう工夫している。
100	②家族等の2/3くらいが (自己 1 ほぼ全ての家族等が 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会の際に要望等速やかに対処したり、通院の際の状況等電話にて詳しく報告するなどして密に連絡を取り合っている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

四季折々の花を楽しめる庭で利用者の方々とガーデニングを觀賞したり、畑で季節の野菜を共に作り、収穫の喜びと新鮮な野菜にて献立したり、美味しく味わったりして、快適な環境下で生活を営んでいただけるよう取り組んでいる。